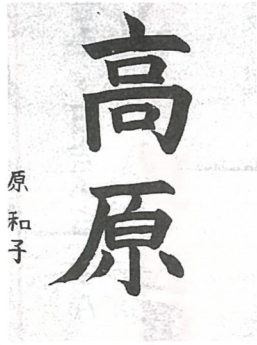




5年2組
原 和子さん

※「高」の口の部分が横長になり苦労しました。「原」は上手に書けました。



原 和子



1年2組
越川このみさん

※かわいいこねこになるようにリボンをつけました。よかったです。



『わたしのリュック』

あつまれみんなの力作



『熊野神社』



6年1組
竹内 里子さん

※神殿とバツクのバランスがとれるように構図を考え、色が濁らないように気をつけて彩色しました。



『アコーディオンをひく友達』



3年1組
早川 久美さん

※ていねいに色をぬりました。洋ふくのをわやかげを注意して描きました。



2年2組
吉田 翼さん

※「大玉おくり」の様子を元氣よくのびのび描きました。



『大玉おくり』



4年2組
鈴木 隼君

※一輪車に乗っている友達を洋服の模様や手足の曲りにも気をつけて描きました。



『一輪車に乗る友達』



評者吟

己が千支六たび迎えぬ祝箸

短評

椎名しげる

留守番の犬鳴いている二日かな

番犬が鳴いている、年始客であるうか。静から動へと一年の秒針は二日から動く。

土屋 義昭(虫生)

満々と溢るる初湯に浸り居り

万象ここに改まる新年、蒼き湯の満つる浴槽に独り浸かる。将に王侯貴族の境地。

大谷 武彦(木戸)

薄き髪いとほしみ梳く初鏡

女の命と言われる黒髪。子育てが終り還暦が過ぎて、ふと吾れに還つた時の感慨。

椎名 静子(二又)

垣越しに児の声透り手毬唄

一つとや一夜明くれば賑やかに。少女の唄う手毬唄は時空を超えた静寂を運ぶ。

布施 和代(二又)

仏壇の前まで初日差し込めり

清らかな初日が仏壇まで、祖霊に對する暖かい敬愛の真情が素直に伝わってくる。

秋山 一泉(栢田)

